

## 地域自殺実態プロフィール 2022

## 【東京都練馬区】

(行政区コード：131202)

## 推奨される重点パッケージ

重点パッケージ	勤務・経営 高齢者 生活困窮者 無職者・失業者
---------	----------------------------------

- ・「推奨される重点パッケージ」は下記「地域の自殺の特徴」の上位3区分の自殺者の特性と「背景にある主な自殺の危機経路」を参考に「子ども・若者」、「勤務・経営」、「生活困窮者」、「無職者・失業者」、「高齢者」の中から選定している。「ハイリスク地」や「自殺手段」と記載がある場合は、次頁の「地域の自殺の特性の評価」で当該指標が全国で上位10%以内(☆☆)であったことを示す。
- ・「推奨される重点パッケージ」は過去5年の合計に基づいており、集計年により異なる可能性がある。また、経年的な推移(過去5年の増加傾向等)は考慮していない。
- ・地域における優先的な課題となりうる施策について検討する際は、まず目安として「推奨される重点パッケージ」を確認いただき、その上で次頁の「地域の自殺の特性の評価」(人口10万人あたりの自殺死亡率等の数値の全国の市区町村中における相対的な高低をもとに評価している。)等、地域自殺実態プロフィールの他の詳細データ等を勘案していただきたい。

## ■地域の自殺の特徴

- ・東京都練馬区(住居地)の2017~2021年の自殺者数は合計553人(男性364人、女性189人)であった(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」(自殺日・住居地)より集計)。

## 地域の主な自殺者の特徴 (2017~2021年合計)〔公表可能〕 &lt;特別集計(自殺日・住居地)&gt;

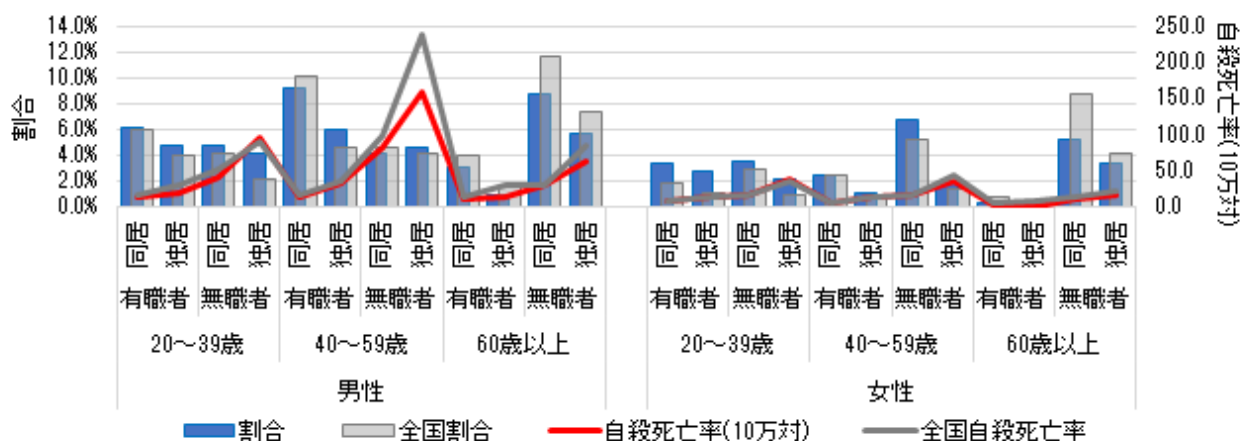
自殺者の特性上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合	自殺死亡率* (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位:男性40~59歳有職同居	51	9.2%	13.0	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
2位:男性60歳以上無職同居	48	8.7%	28.2	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
3位:女性40~59歳無職同居	37	6.7%	16.6	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
4位:男性20~39歳有職同居	34	6.1%	14.0	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺
5位:男性40~59歳有職独居	33	6.0%	31.8	配置転換(昇進/降格含む)→過労+仕事の失敗→うつ状態+アルコール依存→自殺

資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省(自殺対策推進室)にて特別集計

- ・区分の順位は自殺者数の多い順で、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順とした。

\* 自殺死亡率の算出に用いた人口(母数)は、総務省「令和2年国勢調査」就業状態等基本集計を基にJSCPにて推計したもの。

\*\* 「背景にある主な自殺の危機経路」は、ライフリンク「自殺実態白書2013」を参考に推定したもの(詳細は付表の参考表1参照)。自殺者の特性別に見て代表的と考えられる経路の一例を示しており、記載の経路が唯一のものではないことに留意いただきたい。



(数表は付表 1、2 を参照)

資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）にて特別集計

### ■地域の自殺の特性の評価 (2017~2021 年合計)

	指標値	ランク
総数*1)	15.1	-
男性*1)	20.4	-
女性*1)	10.0	-
20歳未満*1)	2.7	★
20歳代*1)	19.3	★
30歳代*1)	16.8	-
40歳代*1)	18.6	-
50歳代*1)	19.5	-
60歳代*1)	13.0	-
70歳代*1)	18.6	-
80歳以上*1)	14.6	-
若年者(20~39歳)*1)	18.0	-
高齢者(70歳以上)*1)	16.8	-
ハイリスク地*3)	92%/-42	-
勤務・経営*2)	13.1	-
無職者・失業者*2)	32.5	★★★
自殺手段*4)	42.1%	☆

\*1) 地域における自殺の基礎資料に基づく自殺死亡率 (10 万対)。自殺者 1 人の増減でランクが変わる場合はランクに a をつけた。 \*2) 特別集計に基づく 20~59 歳における自殺死亡率 (10 万対) (公表可能)。自殺者 1 人の増減でランクが変わる場合はランクに a をつけた。 \*3) 地域における自殺の基礎資料に基づく発見地÷住居地 (%) とその差 (人)。自殺者 (発見地) 1 人の減少でランクが変わる場合はランクに a をつけた。 \*4) 地域における自殺の基礎資料または特別集計に基づく首つり以外の自殺者の割合 (%)。首つり以外で多いと高い。首つりと首つり以外の自殺者数が共に 5 以上であれば、公表可能 (地域における自殺の基礎資料から算出可能な場合の公表は差し支えない)。自殺手段関連資料 (p.7) 参照。  
・指標値欄に「\*」と表示されている場合は、指標を算出していないことを示す。

ランクの標章 (詳細は付表の参考表 2、3 参照)

ランク	
★★★/☆☆	上位 10%以内
★★/☆	上位 10~20%
★	上位 20~40%
-	その他
**	評価せず

※ 全国の市区町村における当該指標値に基づく順位を評価した。

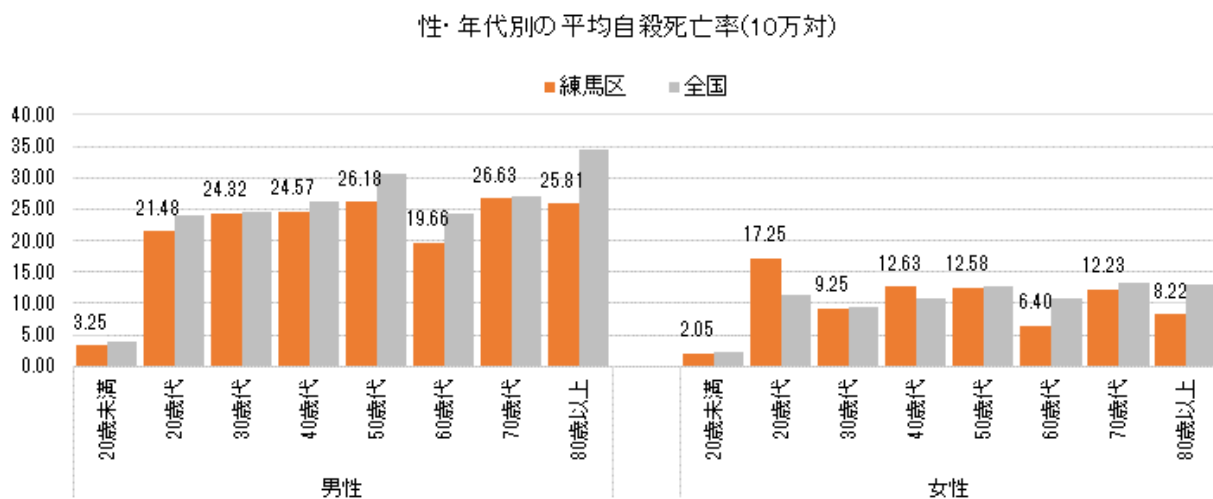
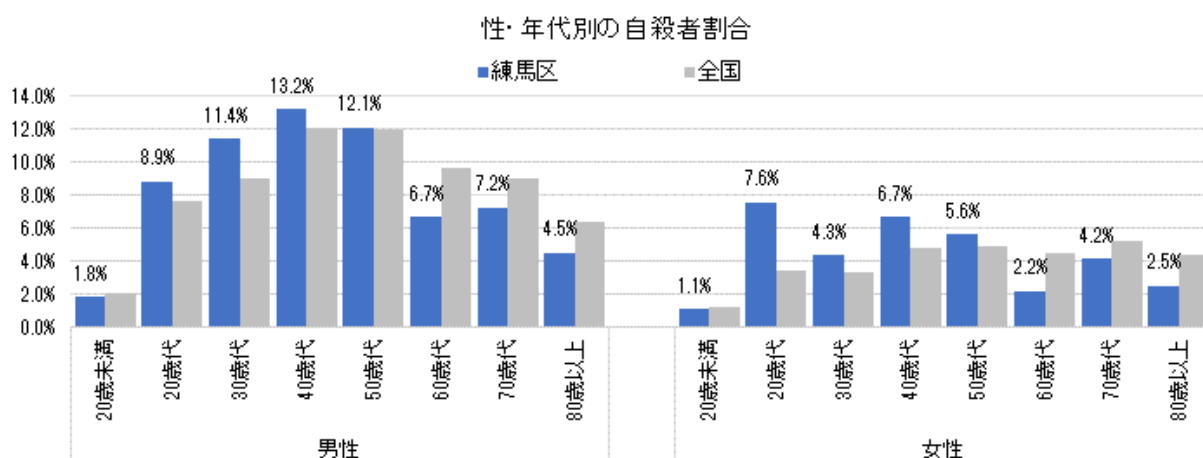
■全般的な状況

自殺者数および自殺死亡率の推移 (2017~2021年)

	2017	2018	2019	2020	2021	合計	平均
自殺統計(自殺日・住居地) 自殺者数	108	112	112	98	123	553	110.6
自殺統計(自殺日・住居地) 自殺死亡率	14.9	15.4	15.3	13.3	16.6	-	15.1
人口動態統計 自殺者数	98	105	99	86	120	508	101.6

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」及び厚生労働省「人口動態調査」保管統計表  
都道府県編

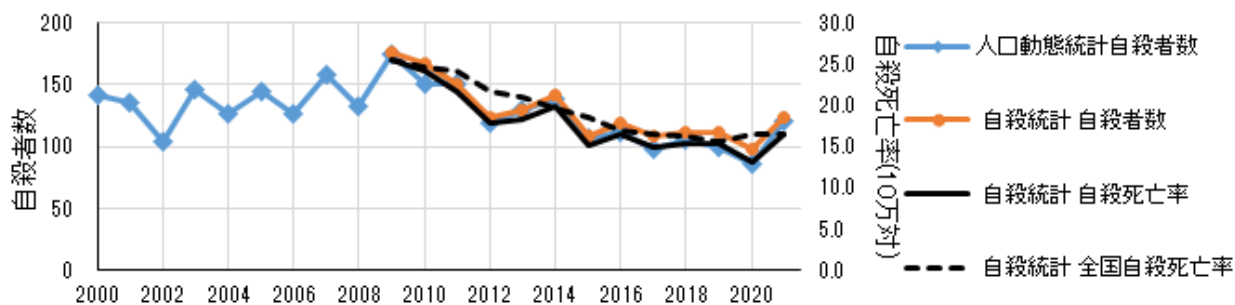
性・年代別 (2017~2021年) <地域における自殺の基礎資料(自殺日・住居地)>



(数表は付表3~5を参照)

・性・年代別の自殺者割合は、全自殺者に占める割合を示す。

長期的な推移



(数表は付表 6 を参照)

■子ども・若者関連資料

児童・生徒等の内訳 (2017～2021 年合計) < 特別集計 (自殺日・住居地) >

※ 5人未満 (斜体) は公表不可 (公表する場合は区分を合算し 5人以上にすること)

学生・生徒等 (全年齢)	自殺者数	割合	全国割合
中学生以下			15.0%
高校生	6	20.7%	30.7%
大学生	18	62.1%	42.1%
専修学校生等			12.2%
合計	29	100%	100%

資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）にて特別集計  
 ・子ども・若者の性・年代・職業（8区分）・同居人の有無別の集計については付表 2 を参照。

■勤務・経営関連資料

有職者の自殺の内訳 (2017～2021 年合計)〔公表可能〕 < 特別集計 (自殺日・住居地) >

職業	自殺者数	割合	全国割合
自営業・家族従業者	29	13.2%	17.5%
被雇用者・勤め人	191	86.8%	82.5%
合計	220	100.0%	100%

資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）にて特別集計・性・年齢・同居の有無の不詳を除く。

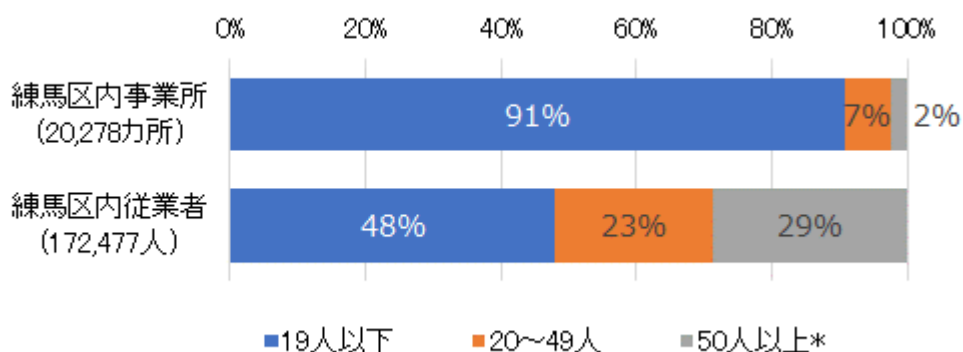
地域の就業者の常住地・従業地 < 令和 2 年国勢調査 >

		従業地		
		自区域	他区域	不詳・外国
常住地	自区域	107,570	200,528	13,636
	他区域	64,572		

・練馬区内常住就業者の 62.3%が他市区町村で従業している。また、練馬区内従業者の 37.5%が他市区町村に常住している。

・地域によっては労働力状態不詳の割合が高く、実際の従業者数を反映していないことがある。

地域の事業所規模別事業所／従業者割合 < 平成 28 年経済センサス >



	総数	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	出向・派遣従業者のみ
事業所数	20,278	12,238	3,834	2,351	804	572	294	142	43
従業者数	172,477	25,991	25,006	31,740	19,044	21,329	19,471	29,896	0

労働者数 50 人未満の小規模事業場ではメンタルヘルス対策に遅れがあることが指摘されており、地域産業保健センター等による支援が行われている。自殺対策の推進の上でも地域の関係機関との連携による小規模事業所への働きかけがのぞまれる。

■高齢者関連資料

60歳以上の自殺の内訳 (2017~2021年合計) [公表可能] <特別集計 (自殺日・住居地)>

同居人の有無		自殺者数		割合		全国割合	
		あり	なし	あり	なし	あり	なし
男性	60歳代	21	16	14.1%	10.7%	14.0%	10.4%
	70歳代	27	13	18.1%	8.7%	15.0%	8.0%
	80歳以上	17	7	11.4%	4.7%	11.5%	5.0%
女性	60歳代	10	2	6.7%	1.3%	8.7%	2.8%
	70歳代	14	8	9.4%	5.4%	9.1%	4.3%
	80歳以上	6	8	4.0%	5.4%	6.9%	4.3%
合計		149		100%		100%	

資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）にて特別集計  
 ・高齢者（65歳以上）の多くが無職のため、性・年代別の同居者の有無を示した。  
 ・60歳以上の性・年代・職業（8区分）・同居人の有無別の集計については付表2を参照。

■ハイリスク地関連資料 <地域における自殺の基礎資料 (自殺日)>

自殺者数の推移

	2017	2018	2019	2020	2021	合計	集計 (発見地/住居地)	
							比	差
発見地	98	101	100	95	117	511	92%	
住居地	108	112	112	98	123	553		-42

年代別自殺者数

2017~2021年合計	20歳未満	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳以上	不詳	合計
発見地	17	81	84	103	87	45	59	35	0	511
住居地	16	91	87	110	98	49	63	39	0	553

■自殺手段関連資料

手段別の自殺者数の推移 <地域における自殺の基礎資料(自殺日・住居地)>

手段	2017	2018	2019	2020	2021	合計	割合	全国割合
首つり	71	55	59	63	72	320	57.9%	66.1%
服毒	5	0	5	3	2	15	2.7%	2.3%
練炭等	3	10	10	5	5	33	6.0%	7.0%
飛降り	16	18	15	11	22	82	14.8%	10.9%
飛込み	5	5	10	4	4	28	5.1%	2.7%
その他	8	23	13	12	18	74	13.4%	10.9%
不詳	0	1	0	0	0	1	0.2%	0.1%
合計	108	112	112	98	123	553	100.0%	100.0%

・地域における自殺の基礎資料で自殺の手段が秘匿処理されている(空欄がある)場合等は、以下の詳細の表を参考のこと。市町村合併後や二次医療圏単位での集計で一部の(旧)市町村に秘匿処理されている場合は、合計および5年合計以外は算出していない。

手段別の自殺者数の詳細(2017~2021年合計) <特別集計(自殺日・住居地)>

※ 斜体(5人未満)は公表不可(注1)(公表する場合、区分を合算し5人以上にすること)

手段	人数	割合	全国割合
首つり	320	57.9%	66.1%
首つり以外(小計)	232	42.0%	33.8%
服毒			2.3%
練炭等	33	6.0%	7.0%
飛降り	82	14.8%	10.9%
飛込み	28	5.1%	2.7%
その他(小計)	74	13.4%	10.9%
有機溶剤吸引			0.2%
排ガス			0.2%
その他のガス	15	2.7%	1.2%
感電			0.2%
焼身	8	1.4%	1.1%
爆発物			0.0%
銃器			0.0%
刃物	23	4.2%	2.6%
入水	6	1.1%	3.4%
その他	19	3.4%	2.0%
不詳			0.1%
合計	553	100.0%	100%

資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省(自殺対策推進室)にて特別集計

- ・5人未満であっても「地域における自殺の基礎資料」から算出できる値は斜体としていない。5人以上の値でも、「地域における自殺の基礎資料」の秘匿値を逆算できる場合は公表不可(斜体)としている。
- ・上記の特別集計結果の公表の際には、「地域における自殺の基礎資料」の秘匿値が算出されないことを確認してください。
- ・「地域の自殺の特性の評価(p.2)」での自殺手段の指標が公表可能となる条件は、本表の「首つり」と「首つり以外(小計)」の人数が共に5人以上であること。「地域における自殺の基礎資料」から算出可能な場合の公表は差し支えない。
- ・(注1)本表の一部数値について、集計プログラムの特性上5以上の値が斜体で記載されることがあります。前記の条件を満たしていれば公表可能ですので、公表の際はご確認ください。

■自殺者における自殺未遂歴の有無

自殺未遂歴の有無別自殺者数の推移 <地域における自殺の基礎資料(自殺日・住居地)>

未遂歴		2017	2018	2019	2020	2021	合計	割合	全国割合
総数	あり	15	19	16	23	30	103	18.6%	19.4%
	なし	68	68	56	37	73	302	54.6%	62.3%
	不詳	25	25	40	38	20	148	26.8%	18.3%
	合計	108	112	112	98	123	553	100.0%	100.0%
男女別									
男性	あり	7	11	12	8	12	50		
	なし	46	54	41	22	49	212		
	不詳	17	20	23	28	14	102		
女性	あり	8	8	4	15	18	53		
	なし	22	14	15	15	24	90		
	不詳	8	5	17	10	6	46		

- ・地域における自殺の基礎資料で自殺未遂歴の有無が秘匿処理されている(空欄がある)場合等は、下記の表を参考のこと。
- ・集計対象期間(2017~2021年)に市町村合併があった場合や、二次医療圏単位での集計において一部の(旧)市町村の値が秘匿処理されていた場合、年次の合計および5年合計以外を空欄にしている。

自殺未遂歴の有無別自殺者数(2017~2021年合計)

<地域における自殺の基礎資料(再掲)もしくは特別集計(自殺日・住居地)>

※ 特別集計による場合(上記の表の総数に空欄がある場合)、5人未満(斜体)は公表不可(公表する場合、区分を合算し5人以上にすること)

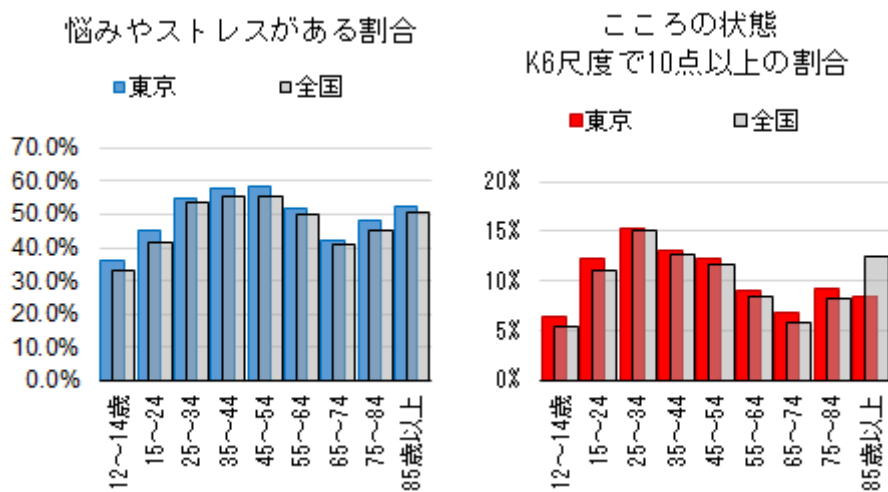
未遂歴	自殺者数	割合	全国割合
あり	103	18.6%	19.4%
なし	302	54.6%	62.3%
不詳	148	26.8%	18.3%
合計	553	100%	100%

- 資料：特別集計の場合は警察庁自殺統計原票データを厚生労働省(自殺対策推進室)にて特別集計
- ・5人未満であっても「地域における自殺の基礎資料」から算出できる値は斜体としていない。5人以上の値でも、「地域における自殺の基礎資料」の秘匿値を逆算できる場合は公表不可(斜体)としている。
  - ・上記の特別集計結果の公表の際には、「地域における自殺の基礎資料」の秘匿値が算出されないことを確認してください。



■住民の悩みやストレス、こころの状態の状況 (国民生活基礎調査)

12歳以上の者(入院者を除く。)の日常生活での悩みやストレスの有無と過去1か月間のこころの状態  
 ※本項目については市町村別の全国的な調査は行われていないため、参考として都道府県-21大都市別および全国の年齢(10歳階級)別の結果を掲載した。



資料：厚生労働省「令和元年国民生活基礎調査」

- 割合は回答不詳を除いて算出した。  
(数表は付表7を参照)

- 悩みやストレスの有無

悩みやストレスの有無は、「あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか。」について「ある」、「ない」のいずれかで回答したものである。

- こころの状態

こころの状態には、K6 という尺度を用いている。K6 は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そわそわ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起ころってても気が晴れないように感じましたか」「何をしても骨折りだと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」の6つの質問について5段階(「まったくない」(0点)、「少しだけ」(1点)、「ときどき」(2点)、「たいてい」(3点)、「いつも」(4点))で点数化する。合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとしてされている。

引用：厚生労働省(2020)「用語の解説」国民生活基礎調査。

■資料編

参考表1 生活状況別にみた背景にある主な自殺の危機経路(例)

生活状況		背景にある主な自殺の危機経路(例)	
20~39歳	同居	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺	
	有職 独居	①【正規雇用】配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺/②【非正規雇用】(被虐待・高校中退)非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺	
	無職	同居	①【30代その他無職】ひきこもり+家族間の不和→孤立→自殺 ②【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺
		独居	①【30代その他無職】失業→生活苦→多重債務→うつ状態→自殺 ②【20代学生】学内の人間関係→休学→うつ状態→自殺
	男性 40~59歳	同居	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
		有職 独居	配置転換(昇進/降格含む)→過労+仕事の失敗→うつ状態+アルコール依存→自殺
無職		同居	失業→生活苦→借金+家族間の不和→うつ状態→自殺
		独居	失業→生活苦→借金→うつ状態→自殺
60歳以上	同居	①【労働者】身体疾患+介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺 ②【自営業者】事業不振→借金+介護疲れ→うつ状態→自殺	
	有職 独居	配置転換/転職+死別・離別→身体疾患→うつ状態→自殺	
	無職	同居	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
		独居	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
20~39歳	同居	離婚の悩み→非正規雇用→生活苦+子育ての悩み→うつ状態→自殺	
	有職 独居	①非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺 ②仕事の悩み→うつ状態→休職/復職の悩み→自殺	
	無職	同居	DV等→離婚→生活苦+子育ての悩み→うつ状態→自殺
		独居	①【30代その他無職】失業→生活苦→うつ状態→孤立→自殺 ②【20代学生】学内の人間関係→休学→就職失敗→うつ状態→自殺
	女性 40~59歳	同居	職場の人間関係+家族間の不和→うつ状態→自殺
		有職 独居	職場の人間関係+身体疾患→うつ状態→自殺
無職		同居	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
		独居	夫婦間の不和→離婚→生活苦→うつ状態→自殺
60歳以上		同居	介護疲れ+家族間の不和→身体疾患+うつ状態→自殺
		有職 独居	死別・離別+身体疾患→うつ状態→自殺
	無職	同居	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
		独居	死別・離別+身体疾患→病苦→うつ状態→自殺

・背景にある主な自殺の危機経路はライフリンク「自殺実態白書 2013」を参考にしている。自殺者の生活状況別に見て代表的と考えられる経路の一例であり、記載の経路が唯一ではないことに留意。

練馬区 地域自殺実態プロファイル 2022 (JSCP 2022)

参考表 2 指標のランクの基準 (詳細)

・当該自治体の各指標についての全国市区町村におけるランク

自殺死亡率のランク		ハイリスク地指標のランク		自殺手段指標のランク (首つり以外の自殺手段の割合)	
★★★	上位 10%以内	☆☆	上位 10%かつ差+10人以上	上位 10%かつ自殺者数 20人以上	
★★	上位 10~20%	☆	上位 10~20% かつ差+5人以上	上位 10~20% かつ自殺者数 20人以上	
★	上位 20~40%	—	その他	その他	
—	その他	**	評価せず	評価せず	
**	評価せず				

参考表 3 指標の各ランクの下限と中央値 (2017~2021年)

指標	★★★	★★	★	中央値
総数：自殺死亡率 (人口 10 万対)	26.8	21.8	17.8	16.6
男性：自殺死亡率 (人口 10 万対)	39.2	31.8	25.6	23.4
女性：自殺死亡率 (人口 10 万対)	17.3	13.5	10.7	9.7
20 歳未満：自殺死亡率 (人口 10 万対)	6.7	4.4	2.3	0.7
20 歳代：自殺死亡率 (人口 10 万対)	34.7	25.2	17.7	14.8
30 歳代：自殺死亡率 (人口 10 万対)	38.4	26.5	18.3	15.9
40 歳代：自殺死亡率 (人口 10 万対)	37.0	26.9	19.9	17.4
50 歳代：自殺死亡率 (人口 10 万対)	41.2	31.4	23.5	20.4
60 歳代：自殺死亡率 (人口 10 万対)	35.4	25.9	18.8	16.6
70 歳代：自殺死亡率 (人口 10 万対)	39.0	29.5	21.5	18.6
80 歳以上：自殺死亡率 (人口 10 万対)	46.2	34.3	23.0	19.6
若年者：20~39 歳の自殺死亡率 (人口 10 万対)	33.1	24.4	18.6	16.7
高齢者：70 歳以上の自殺死亡率 (人口 10 万対)	39.3	29.5	22.0	19.9
勤務・経営： 20~59 歳有職者の自殺死亡率 (人口 10 万対)	87.2	61.9	40.6	34.3
無職者・失業者： 20~59 歳無職者の自殺死亡率 (人口 10 万対)	22.7	19.1	15.0	13.4

指標	☆☆	☆	中央値
ハイリスク地： 発見地と住居地での自殺者数の比と差	~144%かつ 差+10人以上	~122%かつ 差+5人以上	100%
自殺手段：首つり以外の手段による自殺者の割合 (自殺者が 0 人の場合は 0%とした。)	~47%かつ 自殺者 20 人以上	~40%かつ 自殺者 20 人以上	30%

・例えば、総数 (自殺死亡率) が 26.0 であれば、22.3 以上 26.8 未満であり、★★に該当する。

付表1 地域の自殺の概要 (グラフの元データ)

自殺者の割合と自殺死亡率 (人口10万対) (2017~2021年合計) [公表可能]

性別	年齢階級	職業	同居	自殺者数	順位	割合	自殺死亡率 (10万対)	推定人口*	全国割合	全国自殺死亡率
男性	20~39歳	有職者	同居	34	4	6.1%	14.0	48537.5	6.0%	15.9
			独居	26	9	4.7%	19.5	26717.1	3.9%	28.2
		無職者	同居	26	8	4.7%	41.4	12546.5	4.2%	52.4
			独居	23	11	4.2%	95.9	4798.9	2.1%	89.0
	40~59歳	有職者	同居	51	1	9.2%	13.0	78506.0	10.0%	16.1
			独居	33	5	6.0%	31.8	20749.9	4.5%	34.8
		無職者	同居	23	12	4.2%	82.6	5568.0	4.6%	97.0
			独居	25	10	4.5%	158.2	3160.1	4.1%	237.0
	60歳以上	有職者	同居	17	16	3.1%	10.0	33868.9	4.0%	12.4
			独居	5	22	0.9%	13.3	7542.4	1.6%	30.2
		無職者	同居	48	2	8.7%	28.2	34022.1	11.6%	28.4
			独居	31	6	5.6%	63.1	9830.6	7.3%	83.2
女性	20~39歳	有職者	同居	18	15	3.3%	8.3	43,586.2	1.8%	6.0
			独居	15	17	2.7%	11.8	25,351.8	1.0%	11.6
		無職者	同居	19	13	3.4%	15.5	24,500.8	2.9%	15.9
			独居	12	19	2.2%	37.1	6,467.2	0.9%	33.4
	40~59歳	有職者	同居	13	18	2.4%	5.5	47,434.6	2.4%	5.9
			独居	6	21	1.1%	12.9	9,286.8	0.6%	12.2
		無職者	同居	37	3	6.7%	16.6	44,691.4	5.1%	16.3
			独居	10	20	1.8%	33.5	5,978.2	1.4%	43.3
	60歳以上	有職者	同居	1	23	0.2%	1.6	12,807.1	0.8%	5.6
			独居	0	24	0.0%	0.0	4,191.3	0.2%	7.4
		無職者	同居	29	7	5.2%	9.3	62,332.9	8.7%	12.8
			独居	18	14	3.3%	14.6	24,698.7	4.1%	20.4

資料：自殺者数は警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）にて特別集計

\* 各区分の自殺死亡率の母数とした推定人口については、総務省「令和2年国勢調査」就業状態等基本集計を用い、労働力状態が「不詳」の人口を有職者と無職者（労働力人口のうち「家事のほか仕事」、「学業のかたわら仕事」と失業者および非労働力人口の合計）に按分した。

・本表中には20歳未満および年齢、職業、同居の不詳33人を含まない。

練馬区 地域自殺実態プロファイル 2022 (JSCP 2022)

付表 2 性年齢階級別、職業 (8 区分)、同居の有無クロス表 (2017~2021 年合計)

<特別集計 (自殺日・住居地) >

※ 5 人未満 (斜体) は公表不可 (公表する場合は、区分を合算し 5 人以上にすること。)

性別	年齢階級	同居人の有無	職業						不詳	
			有職者		無職等					
			自営業・ 家族従業者	被雇用者 ・勤め人	学生	主婦	失業者	年金等		その他 無職
男性	20 歳未満	あり			5					
		なし								
	20 歳代	あり		13	8					8
		なし			9					5
	30 歳代	あり		18						8
		なし			16					14
	40 歳代	あり	5	22						5
		なし			17					12
	50 歳代	あり	6	18						9
		なし			13					8
	60 歳代	あり		6				5		7
		なし						6		6
	70 歳代	あり	5					10		9
		なし						8		
	80 歳以上	あり						15		
		なし						5		
女性	20 歳未満	あり			5					
		なし								
	20 歳代	あり		7	5					7
		なし			13					
	30 歳代	あり		10						6
		なし								
	40 歳代	あり		9		16				6
		なし								
	50 歳代	あり				7				8
		なし								
	60 歳代	あり								
		なし								
	70 歳代	あり				6			6	
		なし							5	
	80 歳以上	あり								
		なし							7	

資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）にて特別集計・本表中には年齢、同独居の不詳 8 人を含まない。

付表 2-1 (参考) 付表 2 の上位 10 区分 (5 人未満は表記せず) (公表可能)

区分	自殺者数
1 男性 40 歳代 被雇用者 同居人有り	22
2 男性 30 歳代 被雇用者 同居人有り	18
2 男性 50 歳代 被雇用者 同居人有り	18
4 男性 40 歳代 被雇用者 同居人無し	17
5 男性 30 歳代 被雇用者 同居人無し	16
5 女性 40 歳代 主婦 同居人有り	16
7 男性 80 歳以上 年金等 同居人有り	15
8 男性 30 歳代 その他無職 同居人無し	14
9 男性 20 歳代 被雇用者 同居人有り	13
9 男性 50 歳代 被雇用者 同居人無し	13

他に同数の区分あり

付表3 自殺者の性・年代別割合と自殺死亡率(10万対)

※資料：付表4, 5

2017~2021年平均		割合		自殺死亡率(10万対)	
		練馬区	全国	練馬区	全国
総数		100.0%	100.0%	15.09	16.25
男性		65.8%	68.1%	20.41	22.67
女性		34.2%	31.9%	10.05	10.14
男性	20歳未満	1.8%	2.0%	3.25	3.77
	20歳代	8.9%	7.7%	21.48	23.96
	30歳代	11.4%	9.1%	24.32	24.45
	40歳代	13.2%	12.1%	24.57	26.08
	50歳代	12.1%	11.9%	26.18	30.50
	60歳代	6.7%	9.6%	19.66	24.19
	70歳代	7.2%	9.0%	26.63	26.93
	80歳以上	4.5%	6.4%	25.81	34.34
女性	20歳未満	1.1%	1.2%	2.05	2.37
	20歳代	7.6%	3.5%	17.25	11.42
	30歳代	4.3%	3.4%	9.25	9.49
	40歳代	6.7%	4.9%	12.63	10.78
	50歳代	5.6%	4.9%	12.58	12.71
	60歳代	2.2%	4.5%	6.40	10.88
	70歳代	4.2%	5.2%	12.23	13.23
	80歳以上	2.5%	4.4%	8.22	12.97

付表4 自殺者の推移 <自殺統計(自殺日・住居地)>

自殺者数		2017	2018	2019	2020	2021	合計	平均(人)
総数		108	112	112	98	123	553	110.6
男性	合計	70	85	76	58	75	364	72.8
女性	合計	38	27	36	40	48	189	37.8
男性	20歳未満	2	1	4	2	1	10	2.0
	20歳代	8	11	9	9	12	49	9.8
	30歳代	19	16	11	9	8	63	12.6
	40歳代	12	17	17	12	15	73	14.6
	50歳代	11	14	9	11	22	67	13.4
	60歳代	9	9	9	7	3	37	7.4
	70歳代	4	12	9	6	9	40	8.0
	80歳以上	5	5	8	2	5	25	5.0
	不詳	0	0	0	0	0	0	0.0
女性	20歳未満	1	1	1	2	1	6	1.2
	20歳代	5	6	11	10	10	42	8.4
	30歳代	8	5	3	3	5	24	4.8
	40歳代	8	6	5	7	11	37	7.4
	50歳代	5	4	6	7	9	31	6.2
	60歳代	2	1	4	3	2	12	2.4
	70歳代	6	4	4	2	7	23	4.6
	80歳以上	3	0	2	6	3	14	2.8
	不詳	0	0	0	0	0	0	0.0

練馬区 地域自殺実態プロファイル 2022 (JSCP 2022)

付表5 住民基本台帳に基づく人口(住基人口) <総務省>

人口		2017	2018	2019	2020	2021	合計	平均(人)
総数		723,711	728,479	732,433	739,435	740,099	3,664,157	732,831.4
男性	合計	353,685	355,157	356,279	358,946	359,039	1,783,106	356,621.2
女性	合計	370,026	373,322	376,154	380,489	381,060	1,881,051	376,210.2
男性	20歳未満	61,995	61,872	61,596	61,424	60,784	307,671	61,534.2
	20歳代	44,579	44,895	45,432	46,683	46,482	228,071	45,614.2
	30歳代	53,022	52,404	51,578	51,267	50,723	258,994	51,798.8
	40歳代	61,192	60,208	59,389	58,748	57,626	297,163	59,432.6
	50歳代	47,439	49,697	51,332	52,929	54,532	255,929	51,185.8
	60歳代	39,138	38,133	37,370	36,718	36,824	188,183	37,636.6
	70歳代	27,917	28,906	30,200	31,434	31,774	150,231	30,046.2
	80歳以上	18,403	19,042	19,382	19,743	20,294	96,864	19,372.8
女性	20歳未満	58,635	58,807	58,572	58,714	57,995	292,723	58,544.6
	20歳代	46,512	47,558	48,631	50,516	50,253	243,470	48,694.0
	30歳代	52,069	51,892	51,850	51,960	51,798	259,569	51,913.8
	40歳代	60,138	59,460	58,585	57,927	56,785	292,895	58,579.0
	50歳代	45,226	47,462	49,486	51,232	53,082	246,488	49,297.6
	60歳代	39,472	38,159	37,143	36,428	36,347	187,549	37,509.8
	70歳代	36,126	36,805	37,793	38,704	38,596	188,024	37,604.8
	80歳以上	31,848	33,179	34,094	35,008	36,204	170,333	34,066.6

付表5 資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

付表6 自殺者数と自殺死亡率の長期推移

年	人口動態統計 自殺者数	自殺統計		
		自殺者数	自殺死亡率	全国自殺死亡率
2000	142			
2001	136			
2002	104			
2003	146			
2004	127			
2005	144			
2006	126			
2007	158			
2008	133			
2009	175	176	25.5	25.6
2010	150	167	24.1	24.7
2011	151	150	21.6	24.1
2012	119	124	17.8	21.8
2013	129	130	18.3	21.1
2014	139	142	20.0	19.6
2015	107	109	15.3	18.6
2016	112	119	16.6	17.0
2017	98	108	14.9	16.5
2018	105	112	15.4	16.2
2019	99	112	15.3	15.7
2020	86	98	13.3	16.4
2021	120	123	16.6	16.4

・自殺死亡率は人口10万対

付表7 悩みやストレスの有無、こころの状態 (2019年)

東京	悩みやストレスの有無			こころの状態 (K6 尺度合計点数)				
	総数	あり	不詳	総数	0~4点	5~9点	10点以上	不詳
総数	11521	5814	154	11521	7891	1946	1187	498
12~14歳	293	97	23	293	220	27	17	28
15~24	1117	503	6	1117	784	183	136	15
25~34	1116	605	6	1116	708	225	169	13
35~44	1762	1008	18	1762	1182	306	225	49
45~54	1998	1158	22	1998	1315	389	239	56
55~64	1595	820	13	1595	1137	276	139	43
65~74	1868	772	27	1868	1396	262	120	89
75~84	1332	627	28	1332	879	197	110	147
85歳以上	441	224	12	441	270	81	32	57

資料：厚生労働省「令和元年国民生活基礎調査」(健康票)の第123表(世帯人員 (12歳以上), 悩みやストレスの有無-悩みやストレスの原因(複数回答)-無・性・年齢(10歳階級)・都道府県-21大都市(再掲)別)と第125表(世帯人員 (12歳以上), こころの状態(点数階級)・性・年齢(10歳階級)・都道府県-21大都市(再掲)別)より抜粋  
 ・二次医療圏については当該都道府県の結果を表示。